

第16回通常総会終了しました

去る5月15日、町内の一本松公会堂において第16回通常総会が行われました。2019年からの新型コロナウイルスの感染禍に於いても対策をしながら継続して営業を行ってきました。

(第1号議案) 2021年度活動では

<訪問実績> 延べ人数 2021年度 4月~3月まで 利用者総数は昨年より増えている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総数	402	386	449	446	392	356	365	353	387	345	311	384	4576
介護	145	149	166	170	130	127	128	142	137	120	107	132	1653

28年度 3311人 29年度 2658人 30年度 3428人 令和1年 4119人 令和2年 4283

<利用者の状況>

現在の利用者状況は総数 54名 難病利用者 14名 (ALS 5名)、呼吸器使用 10名 (1名は鼻マスク)、吸引器使用者は 10名、HOT 使用者は 2名、胃瘻設置者は 8名、尿留置カテーテル 2名であり、医療依存度の高い利用者は多いと思われる。精神科の依頼は 9名。認知症の一人暮らしや高齢の二人暮らしの依頼は増えている。コロナ禍を理由に新規依頼はやや減っている。

<痰の吸引研修> 26名に行ったこと。多かった。

<精神研修受講> 常勤者全員が研修受講を終えて精神の方の担当ができるようになった。

<職員> 看護職員：1名が退職し常勤者 4名 非常勤 5名

作業療法士 (非常勤) 現在は 1名。臨時で勤務。

事務職員 (非常勤) 1名。 全職員は 11名。

<会員状況> 現在 11名の会員 (会員は会費納入をしている会員のみを整理して 11名になった)

<新型コロナ対応> 同居家族の感染による濃厚接触者となった職員は 2名、罹患者は 1名であった。

- ・出勤する職員全員に毎日体温測定をしてもらい、表に書き込んでもらうと共に、感染拡大にともなって直行直帰なども含め対応した
- マスクや手袋・ガウン着用を義務化し感染対策に努めた。スタッフの家族が濃厚接触者になった場合は年休を使って休んでもらった。



<出前コンサート> コロナ禍で現在休止中。今後どのような形式にしていくか在宅療養者の方へのお楽しみを考えていかなければならない。

<ほっと介護教室>

通常は年間計画に基づき教室を開催していたが新型コロナウイルス感染拡大のためできなかった。介護教室のキネステ・マッサージも好評であるため今後もできる方法などを検討して計画していく。

<災害時の対応>

地震が多く、一度は一部の地域で停電もあった。災害時の連絡方法を適宜見直し、カンファレンスで連絡方法の見直しを行った。今後大きな地震などがおこる可能性もあるため事務所における備蓄などの防災対策を含め定期的な見直しをしていく。年に2回6月と12月。

<人材不足と育成について>

- ・ 人員に余裕ができ、同行訪問など適宜行った。2年目以降のスタッフの研修を充実させて、長く続けられる体制ができるようになっていきたい。研修の参加がしやすい状況ができてきて今後も研修は計画していく。コロナ禍で研修はオンライン研修が多くなっていることで参加できるスタッフが増えた。
- ・ 人材育成の検討、業務上の役割分担、学会発表や研修への参加など、興味のあることなどを学習ができる機会を作り、やりがいを持てるように働きかける。
- ・ 利用者への対応に苦慮している職員がいた。苦慮していることについてはカンファレンスなどである程度、共有化はできているが不十分さを感じる。職員の気持ちへの理解や、患者様の内面的な問題などを深めるまでに至っていない。この点については今後どのような学習が必要なのか考えていく。
- ・ OTとの連携により利用者の生活の質を向上できている。

<経営状況について>

7月、12月の賞与と3月の期末手当は常勤に渡せた。非常勤に今年度も12月と3月に賞与を出せた。

<訪問看護の質の向上>

- ・ 研修の結果報告会や事例検討会を計画的に開催
研修に参加した場合は学びの共有をしていきたい。 難しい利用者が多いため、悩んでいる事例は検討会などを開催して共有して一緒に考える機会にしたい。
- ・ 事業所の15周年記念と患者の満足度調査について
訪問看護ほっとステーションも15周年を迎え、Tシャツとハンカチの作成を行った。利用者と関係諸機関に配ることができた。平成24年度に満足度調査ができたが、その後行えていなかった。今年度はなんとか行なうことができたが、その結果を踏まえてどのように今後のステーションの拡大につなげるか考えていく。
- ・ 研修会への参加
常勤の看護師の経験は多いが難病等の経験は少ないため、研修に参加してもらう。

<電子カルテの使用>

- ・ 2020年12月より使用開始 なんとか1年が経過して徐々に慣れてきているが使い方にまだ不十分な部分もあるため今後も徹底していく。
- ・ 全スタッフとの面談。 対応は小倉・殿岡。今年は3月と4月に行った。スタッフとのコミュニケーションにもなるため、今後も継続していく。
- ・ HPについて、ブログは結構読まれている。このことで法人・ステーションの理解につながりPRができています。全員で分担して書くことになっているが滞っている傾向がある。今後早めにブログが書けるように調整していく。今年度は当ステーションで行っている看護の紹介や今のトピックスなども紹介できるように考えたい。

<質疑応答>

- ・ 事業所でのPCR検査を定期的実施していないがそれについてどう考えるか?
→PCR検査は検査する前までに感染しているかどうかを判断するものなので、あまり意味のないものと思われる。濃厚接触者と思われる事例ではPCR検査をしてもらっている。抗原検査キッドは事務所に準備してあるので2名に使用した。
- ・ 利用者への対応に苦慮している場合は、訪問看護の質向上のために事例検討を定期的に行っていたよ。
→事例検討をするにあたってのフォーマットや事例検討の例みたいなものがあると良いのではないかな。

(2) 第2号議案 2021年度決算報告(収支計画書・貸借対照表)

(3) 第3号議案 2022年度活動案報告(事業計画書)

- ・ほっと介護教室
- ・研修事業の推進
- ・事例研究は拒否のある利用者さんへの援助
- ・ほっと通信の再開と充実
- ・マニュアルや手順書の再検討

(4) 第4号議案 2022年度 収支予算書

- ・事務所移転や車の購入(あるいはレンタル)を考えている

☆今年度より会費は1000円とする。

1. 第1号議案、第2号議案、第3号議案、第4号議案の件、議長は議場に諮ったところ、満場一致で承認された。

1. 理事と監事の選定に対して、満場一致で承認された。なお選定者は、その就任を承諾した。

理事長：殿岡登代 (190-0031 東京都立川市砂川町 4-44-5)

理事：小倉典子、佐々木公一、下西潤子、殿岡登代、山本君子 5名

監事：深水早苗

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より、本日の議事をまとめるにあたり、議事録署名人2名を選任することを諮り、次の者が議事録署名人に選任された。

議事録署名人 小倉 典子

議事録署名人 村山 真由美

以上をもって総会の議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し午後3時に散会した。
上紀の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に記名押印する。

2022年 5 月 15 日

特定非営利活動法人 在宅ケアを支えあう会

定例総会において

議 長 殿岡 登代 印

議事録署名人 小倉 典子 印

議事録署名人 村山 真由美 印

総会後の研修会

「移動や体位変換で困っているケースについて

キネステティックの考え方で解決できないか」

講師：下西潤子さん

キネステイクスによる介助とは

1. 自然な動きの再現

7つの基本体位

2. 接触はコミュニケーションであることを理解
3. 安心して任せられる関係を築く
4. 時間と空間を準備する
5. 重さは骨に

